

もうきん み

# 野生の猛禽を診る 獣医師・齊藤慶輔の365日

齊藤 慶輔 著

傷ついたシマフクロウ、オオワシ、  
オジロワシ……

## 信じたい、 彼らの生きる力

人間の活動が野生希少種の存続を  
脅かしている!?

救護・治療を担い、北の大地を奔走  
する獣医師が訴える

### 「野の者は野へ返す」ため 成すべきこととは――



北海道・釧路湿原内にある野生生物保護センターを拠点に、全国でも数少ない野生専門の獣医師として働く著者。特に傷ついたシマフクロウ、オオワシ、オジロワシといった希少猛禽類の救護と治療を担い、野生復帰という大目標に向け、日々心血を注ぐ。エゾシカ猟が原因の鉛中毒、鉄道・自動車や風力発電施設への衝突事故など、絶滅の危機に瀕する鳥たちを取り巻く人為的危機が増す中で、被害状況の把握とその予防に力を尽くす著者が訴える「環境治療」の考え方とは何か。

《主な内容》

- 1章 猛禽類を守る  
なぜ猛禽類を守るのか\*シマフクロウ保護の拠点\*自然界のルールに逆らわぬ救護\*野生動物の心を読む
- 2章 鉛中毒  
ワシが大量死\*エゾシカ猟増加に連れて\*防止のための市民活動\*行政の対応と続いた症例
- 3章 人間界との軋轢  
事故予防と専門家との連携\*環境治療の具体的取り組み\*野生動物への餌付け
- 4章 大量死防止と「野へ返す」こと  
サハリン資源開発の脅威\*人獣共通感染症への対応\*野生へ――復帰の判断と方法 ……ほか

四六判 / 256 ページ / 定価 1800 円 (本体 1667 円 + 税)

北海道新聞社